

夢じゃーなる

Vol.
20

阪神北地域ビジョン委員会だより

伊丹・宝塚・川西・三田・猪名川 4市1町



世界稲刈り選手権の模様（関連記事 3 ページ）

目次

◆ グループ活動紹介	2~5
◆ 地域だより「地域活動グループの紹介」	6、7
◆ イベント案内「地域見本市」開催	8

多世代交流グループ“じばヤング”

「ふれあい七ようまつり」でエンジョイ!

7月17日に開催された「ふれあい七ようまつり」に「昔の遊び」コーナーで参加しました。
(さんだっ子きょうだいつくり三田小学校区推進委員会主催)



竹の輪投げコーナー



「なかなか 入れへん!」
「何回投げてもええねんてえ」
「よっしゃあ!!」

コマ回し(手作りコマ、郷土コマ)コーナー



サッカー少年、野球少年がコマ回し
にチャレンジ
昔の少年たちも大喜び!!

手作りコーナー



「牛乳パック? ストロー?」
「竹とんぼ、しおり、万華鏡ができるよ」
「へえー 何つくろーかな」

地震

地域活動のしくみづくりグループ

災害に強い安全・安心のまちづくりを目指して!

台風



地震、台風、集中豪雨、大規模火災など、私たちはいつ来るかもしれない危険と隣り合わせにいます。そうした災害に出くわしたとき、被害を最小限に抑えるため、第一には住民自身、自治会などの地域の組織、そして地方自治体が一体となって助け合うしくみづくりが大切です。いざというとき、まずは自助、次に共助、そして公助へと連動していくことが望まれます。その中心となっている手立てを紹介します。

それは、『災害時要援護者支援制度』です。災害時の避難や救出に際し、高齢者や障害者など周りの人の助けを必要とする人をあらかじめ把握しておき、速やかな援助ができるような仕組みを用意しておこうとするもの。国と県の示す指針をもとに市町村ごとで取り組まれています。詳しくは、ホームページ「災害時要援護者支援」で検索してください。

次は、地域ごとの危険個所を示す『ハザードマップ』です。津波、河川氾濫、土砂崩れ、浸水などの危険個所や避難所を地域ごとに地図で見ることができるウェブ情報です。郵便番号か住所をインプットして自分の住む場所の危険個所や避難所を知っておくことは大事ではないでしょうか。詳しくは、「ハザードマップ 兵庫」で検索してください。

私たちのグループは、阪神北県民局管内4市1町の制度の現状を調べ、自分たちの住んでいる地域住民が、いざというとき、お互いに助け合いのできるしくみづくりに取り組んでいます。

水グループ

○4月11日 武庫川さくら回廊ウォーク(三田市)



JR藍本駅に集合し、ゴミ拾い担当としてビニール袋を手にして、最後尾で出発しました。藍本地区の武庫川さくら回廊を、満開の桜を觀賞しながら7kmゆっくり歩き、駒宇佐八幡神社に到着して弁当を頂きました。雨模様の天気になったので、青野ダムサイト公園には無料バスでゴールし、そして、青野ダムの魚道で水質検査を行い、河川として望ましい数値を確認しました。

らぼ・こどもと・ゴミ環境グループ

～心地良い環境との空間を創造し、人と交流しましょう～

ゴミの減量等環境問題をテーマに各地域で啓発活動を実施しています

- ・ 3世代による地域活動を実践する。
- ・ 環境にやさしい方法として、地域で枯れ葉を集めて堆肥にする。
- ・ 若い人が集まる都市部と一人暮らしが多く高齢化が進む農村とを結びつける。

今後、各メンバーとともに、多方面にも呼びかけて活動の輪を広げたいと思っています。



生ゴミを堆肥とした「もち米」田

5月30日 三田市東本庄 世界田植え選手権を開催

当日は天候に恵まれ、県立有馬高校の学生さんをはじめ一般の方々約80名の参加で、私たちに一番身近な土、そして人との関わり、心地の良い土との空間を過ごしました。



田植え選手権の様子

8月26日 伊丹市 ダンボールコンポスト講習会を開催

伊丹市の依頼により、伊丹市公設卸売市場内「スマイル阪神」2階会議室にてダンボールコンポスト講習会を開催しました。

市民農園での利用促進を契機に、環境保全型農業を通じて、市民の都市農園への理解を深めることを目的として開催されました。

講習会終了後の意見交換会では40数名の参加で、さまざまな意見が出され、とても有意義な講習会となりました。

〈主な意見〉

- ・ 害虫が発生した場合、どのように対処したらよいか。
- ・ ダンボールコンポスト製作にかかる費用はいくらか。



ダブルコンポストの説明風景

(当グループは、地域ビジョン委員のほか、本年4月から、一般の方も参加して主として枯れ葉集めを行う『阪神北 ECO クリーン隊』を結成しました。興味のある方は事務局までご連絡ください。)

地域の催しに参加しました

○7月4日 大野アルプスランドあじさいまつり(猪名川町)

能勢電鉄日生中央駅から阪急バスで柏原バス停へ、送迎マイクロバスで大野アルプスランドに到着しました。まず、山頂のすぐ下にある猪名川源流地を、看板を確認しながら観察しました。そして、咲き誇るアジサイを鑑賞しつつ、大野山山頂と猪名川天文台を訪ねました。帰りは、主催者からの玉ねぎとじゃが芋を土産に、岩場めぐりを經由して、迷いながら歩いて下山しました。



こどもと地域の環境会議グループ

未来へつなぐ生物多様性

将来を担う子どもたちの「体験的環境学習」の重要性が叫ばれて久しくなります。この間、地域、企業、行政の連携のもと、さまざまな取り組みが学校や各種組織でなされるようになりました。中でも小学校低学年から始まる環境教育は、自然環境や天気、気象等の自然現象についての理解の始まりとなる大切な取り組みの一つです。

兵庫県でも第3次環境基本計画(次世代に継承する“環境適合型社会”の実現)が策定され、地球温暖化の防止とともに、生物多様性の重要性や地域システムの確立が強調されました。昨年は、「生物多様性ひょうご戦略」も策定され、その実践に努力されています。子どもとともに協働を実践する私たちの活動に対して理解が必要です。気持ちでの参画・協働では力が出せないのです。子どもたちと一緒に取り組む、ともに学習しながら、社会を創造・構築しなければなりません。

当グループは、県主催で子どもたちに、環境をテーマに募集した「夏休みエコ研究にチャレンジ!」の優秀作品表彰式「きらっと☆北摂フェスティバル(10/17・県立有馬富士公園)」や、「阪神北こども環境サミット(12月予定)」に参加。また、それに先立って行われた「教師のための環境体験学習会(8/6・国崎クリーンセンター)」にも参加・協力しました。



県立有馬富士公園(共生センター)



生物多様性とは…環境体験学習会

であいたいグループ

阪神南・北ビジョン委員会交流活動を開催



武庫川峡谷にて



足湯で交流談義

7月17日(土)、阪神南地域ビジョン委員会「阪神南再発見クラブ」と阪神北地域ビジョン委員会「であいたいグループ」が武庫川峡谷で初めての交流活動を行いました。

阪神南、阪神北には、それぞれに大切に守りたい豊かな自然や歴史文化があります。相互交流によってさらにそれぞれの理解を深め、地域の魅力を発信していこうと思っています。

第一回目の交流の舞台に選んだのは、阪神地域を支える武庫川峡谷です。武庫川は丹波篠山を源とし、三田市、宝塚市、西宮市、伊丹市、尼崎市を貫流する、まさに「阪神北と南をつなぐ母なる川」です。阪神南からは4名、阪神北からは9名の合計13名が参加しました。グループ代表の「流域講座」を受けながら、JR西宮名塩駅から旧国鉄廃線跡、そして武庫川に沿って武田尾まで観察歩行を実施しました。廃線跡トンネルや平成16年豪雨の水位痕跡などを観察し、武庫川の果たしてきた役割とこれからの我々の責任を痛感しました。最後は、武田尾の足湯で南北談義、今後も相互に交流することを約束しました。

めだかグループ

～地域活動のお手伝い、イベントに参加して、人と人をつなぎ心かよえる居場所づくりを行っています～

5月5日 伊丹市立子ども科学館「こどもまつり」に参加

恒例の「暗やみの絆」

～暗やみで手をつなぎ、声をたよりに絆を感じる体験～

- ・ 97名(3歳～72歳)参加、絆を感じた人が48名。
- ・ 「自分の手も見えない暗闇で、声を出さないと伝えることが出来ない、いい経験でした。」とアンケートに答えて頂きました。



順番待ちをする参加者

みんなでランラングループ & めだかグループ

～ご一緒に楽しみませんか～

7月25日 宝塚市福井鉄筋(震災復興)住宅「元気にするイベント」を開催

- ・ 認知症家族を抱える男性介護者の研修ビデオと演芸鑑賞
- ・ 30名の参加者で好評でした。



認知症のビデオいかがでした?



どじょうすくい 笑いをとる



手拍子合わせて ご一緒に

8月14日 伊丹市南町高層(震災復興)住宅「震災15周年記念事業 復興夏祭り」を運営



パネルで振り返る13年間



ステージでフラダンス



100人参加の○×クイズ

震災から15年、南町高層住宅入居後13年、歩みのパネルづくりを企画・運営して、ここに住んでいる方たちは、いかなる環境の変化、社会変化があっても、「こころの絆」で「住み良いまち、住みたい地域」を自分たちでつくっておられることを感じました。

これからも「ほどけない絆」として根付くことを願っています。

地域活動グループの紹介

阪神北は、豊かな自然と古くからの歴史文化に恵まれた地域です。その中でも今回は、「地域の自然を守り育てる活動」をされているグループをご紹介します。

連絡先を載せていますので、興味のある方は、ぜひご連絡ください。

棚田交流人 — 楽しく農作業☆棚田文化を守りたい —

三田市上槻瀬地区の“つくしの里”、ここは都会から近距離にありながら、大舟山に見守られた美しい農村風景が広がっています。この古くからの農村の自然環境・文化を都市住民の手で再生し、守り続けようとしている農作業ボランティアグループがあります。それが「棚田交流人」です。

現在の会員は22名(川西、神戸、三田、宝塚、西宮の都市住民)で構成、地元農家との協働・交流により活動を続けています。活動は月1回、区域の除草、水路清掃、果実の手入れ、じゃが芋・さつま芋などの野菜づくり、そして、毎年11月には棚田収穫祭を楽しんでいます。



出合の家でつろぐ

会社員の山下代表は、「10年間、このグループ活動が続いているのは、農作業に素人の会員を暖かく指導していただいている地元農家のご理解もありますが、一番大切なことは、会員が参加できる時に、自分のできることを、無理なく、農作業を楽しんでいることだと思います。今年は、ジャンボ南瓜づくりに挑戦しています。新会員の加入は“大歓迎”、より多くの方々と交流し、農作業を楽しみながら、この地域の自然・棚田文化を後世に残したいですね」と話され、とても笑顔が印象的でした。

お問い合わせは、TEL 079-562-7878 代表 山下まで

池田炭加工処 — 里山からの贈り物に新たな息吹 —

切り口が菊の花のように美しい「菊炭」、古くは能勢町、豊能町、川西市を中心とする北摂地域で生産されてきた「高級お茶炭」、池田で集積され、日本各地へ送り出されたことから「池田炭」とも呼ばれます。しかし、残念ながらこの「菊炭」が消えようとしています。

「池田炭加工処」の皆さんも、それを食い止めるべく、クヌギ林を整備し(里山整備)、稀少となった炭焼き技術の継承(下西窯・豊能町)及び「菊炭」の啓蒙を目指す「菊炭クラブ」の一員として、活動されています。「池田炭加工処」の皆さんにとって菊炭は、「里山からの贈り物」と位置づけられ、消臭や調湿効果に加え、炭本来の持つ温もりに、「新たな息吹」を与えようとしています。すなわち、菊炭を加工し、現代生活に“癒しの空間”を演出します。



池田炭加工処の皆さんと

最後に、代表の植杉さんは、「新たな菊炭との出会いに、多くの方々から、驚きや感動の声をいただいています。そして、私達の活動はまだまだ始まったばかりです。みなさんも、ぜひ、と一緒に活動してみませんか?」と。

お問い合わせは、TEL・FAX 072-759-2407 代表 植杉まで



三田つくしの里

丸山湿原群保全の会 — 地域資源を後世に残していこう —

県下随一の生物多様性と最大面積を持つ丸山湿原は、宝塚市北部西谷地域、標高328.4mの丸山の山あいにある湧水湿原です。この湿原群生態系を地域資源として捉え後世に残していくため、地域内外の住民が協調・連携しながら保全・活用を行うことを目的に保全の会は発足しました。



早春の両生類
モニタリング調査

初夏の湿原巡回

日本一小さな
ハッチョウトンボ(♂)

秋風の中のウメバチソウ

現在、会員は30名。月2回の活動日には、湿原周辺域の清掃や保全管理作業、盗掘や踏み込み防止の監視活動、学識者の指導を受けてのモニタリングなど、自然環境調査等を行っています。

会では、ただいま、一緒に活動して下さる方を大募集!

お問い合わせは、TEL 0797-91-1788 代表 岸まで

武庫川づくりと流域連携を進める会 — 天然鮎を武庫川に取り戻そう —

武庫川峡谷は、かつて、加古川の鬮龍灘と並ぶ鮎の名所であり、明治44年頃、生瀬駅では鮎を姿造りの押し寿司にし、「鮎寿司」として販売されていました。その豊富だった鮎も70年代頃から減り始め、昨今では、産卵の確認も数ヶ所、数百匹が確認されているに過ぎません。

〈鮎の四季〉

- (春) 海で成長した鮎が川を遡上
- (夏) 遡上した鮎は、石に生えた藻類(コケ)を食べて成長
- (秋) 小砂利の瀬で産卵し2週間で孵化し、稚鮎は川の流れに乗って海へ
- (冬) 海に着いた鮎は、浅場で動物プランクトンを食べて成長し、春になると、また川を遡上

〈会の発足と活動内容〉

2004年、県では「総合的な治水対策」を実現するため、住民参画の下で「武庫川流域委員会」を設置しました。2007年にその提言書をもとに「河川整備基本方針」をまとめ、国の同意を得ました。こうした中、2007年4月、「武庫川流域委員会」メンバーの2/3と流域市民が参加してこの会が発足しました。「天然鮎が棲める武庫川を取り戻そう」と活発な活動をしています。

田村代表のもと、現在会員は約30名で、定期的に「鮎のフォーラム」開催、「水質検査」、「親子参加の武庫川自然観察会」等を実施。武庫川に関わる流域住民、団体、行政等と連携を進めています。是非、一緒に参加しませんか?



自然観察会での調査

お問い合わせは、TEL 06-6428-8626 事務局まで

入場無料

地域見本市

「育もう!地域の夢と未来、私たちの絆」 ～WE♡阪神北～

日時 11月21日(日) 10:00～16:00

場所 猪名川町生涯学習センター、猪名川町文化体育館(イナホール)

主催/兵庫県阪神北地域ビジョン委員会ほか 担当/シンボルプロジェクトグループ



今年も阪神北地域ビジョン委員会の大会「地域見本市」を猪名川の地で開催します。

今年は、地域で活躍する団体のパネル展示に加え、10時のオープニングは、メイン会場の視聴覚ホールで「ふれあいマジックショー」と、ビジョン委員会「ランラングループ」による「バラエティショー」がスタート。

お昼には、昨年も好評だったマスコットキャラクターが大集合します。今回は「はばたん、たみまる、きんたくん、キッピー、いなぼうと一緒に写真を撮ろう」を企画しました。ぜひカメラを持参のうえ、会場へお越しください。

午後のメインイベント「ふれあいトーク“夢に向かって～めざせ未来のアスリート!”」では、村上真一氏(元プロ野球選手・オリックスブルーウェーブ)石末龍治氏(元サッカー選手・ヴィッセル神戸)、丸田陽七太君(中学1年生・ボクシング全国大会U-15連続優勝)の3名が出演(予定)。自らの体験で刻まれた思い出のシーンを振り返っていただき、その時のエピソード、今後の夢や意気込みといったものを臨場感たっぷりにお話いただきます。

このほか、屋外テントでは、お餅つき、青空アートコーナー、昔の遊びコーナー、館内では、ダリアを使ったしおりづくり、健康吹き矢、菊炭アート展、自治体PR・試食・試飲コーナーがあります。こぞって足をお運びください。



石末龍治氏



丸田陽七太君

** イベントスケジュール **

平成22年11月21日(日)「地域見本市 育もう!地域の夢と未来、私たちの絆～WE♡阪神北～」開催。
猪名川町にて、シンボルプロジェクトグループ担当

平成23年 1月22日(土)「阪神北地域夢会議・さわやかフォーラム」開催。宝塚市にて

広報部会から

ゲリラ豪雨から記録的な猛暑が続き季節が変わりました。

スポーツ・芸術・食欲・読書と充実した日々を過ごされていることと思います。

19号から始まった「地域だより」。今号では「地域の自然を守り育てる活動」グループをご紹介します。これをきっかけに、若い世代の人たちが『自分達のふるさと』を守ることに興味を持ち、活動に参加してもらえたら嬉しいです。

2010年11月

発行: **阪神北地域ビジョン委員会**

(連絡先) 〒665-8567 宝塚市旭町2-4-15

阪神北県民局 総務室地域企画課

TEL 0797-83-3117 FAX 0797-86-4379

HP http://web.pref.hyogo.jp/area/n_hanshin/vision.html